

朝晩は秋を感じるようになってきました!!

令和8年9月30日(水)

長崎中学校学校だより

校長 鬼塚 喜隆

いつも心に長崎を 第14号

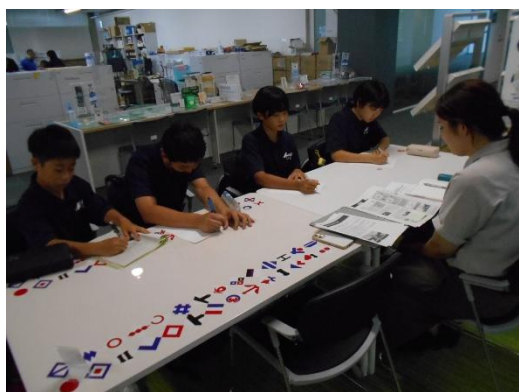
おおとり祭に向けて～学びの「最大化」～

「コッコデショ! コッコデショ!! コッコデショ!!!」

長崎中学校は今、来る10月18日に開催するおおとり祭の練習、準備に大忙しです。

2、3年生が隔年で取り組んでいる**コッコデショ**。今年は2チーム編成で取り組んでいます。担ぎ手は肩の高さを揃えないといけないため、2チーム編成となるとどうしても大きさに差がある編成となります。1学期から練習に励んできましたが、少しずつステップアップを重ね、今週の練習では、両チームとも太鼓山を天空に放り上げることに加え、采振りの生徒を太鼓山に乗せて移動するという段階までできました。

堂々と入場し、回り、跳ばし、天空に太鼓山を美しく舞わせる。技術やコツはもちろん必要ですが、大切なのは、「**仲間のために全力を尽くす**」という思いを全員が持つことと、「**仲間を信じる**」ことだと思います。**樺島町の皆様の情熱あふれる指導**のもと、全員が力を合わせ、練習を積み重ねて、**学びを最大化**してほしいと思います。



1年生は「音」を切り口として、長崎の魅力を探る学習に取り組んでいます。班ごとに市内各所を訪問したり、多くの皆様にアンケートやインタビューを行ったり、本当に手探りの中で取組を進めていますが、進めるほどに**学びが大きくなっています**。その集大成としてのおおとり祭での発表が本当に楽しみです。なお、1年生の取組の様子は、N I Bから継続取材を受けており、近日中にテレビ放送予定ですので、日時が決まりましたら、Tetoruにてお知らせいたします。

おおとり祭のもう一つの大きな目玉が「合唱コンクール」です。昼休み、放課後と各教室から練習の歌声が聞こえてきます。コンクールですから、1組負けるな、2組負けるなで練習を重ね、最優秀賞を受賞する喜びを学級で分かち合ってほしいと思いますが、その**喜びを最大化**するのは、どれだけ**練習を頑張ったか**にかかっています。気遣いながら声をかけるリーダー、人知れず練習に励んできた指揮者や伴奏者。学級のみんながみんなを思い、みんなで美しいハーモニーをつくりあげ、**感動を最大化**してほしいと思います。



「いつも心に長崎を」という合言葉を具現化するおおとり祭 2026。どうぞお楽しみに!!